

# がん化学療法処方

プロトコール名: 大腸癌T-CORE Cmab+modFOLFIRI療法(1クール14日)  
(下に実際の投与方法を記載)

投与日	薬品名	投与経路	投与時間
d1	① デキサート注射液6.6mg + 生理食塩液100mL (点滴開始と同時にレスタミン錠10mgを5錠内服)	div	30分
	② アービタックス注射液500mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液500mL	div	120分
	③ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	12分
	④ パロノセトロン静注0.75mg + 5%ブドウ糖液50mL	div	15分
	⑤ レボホリナート点滴静注ト 200mg/m <sup>2</sup> + 5%ブドウ糖液250mL	div	120分
	⑥ トポテシン注 150mg/m <sup>2</sup> + 5%ブドウ糖液250mL 点滴5と6は同時に滴下開始	div	90分
	⑦ フルオロウラシル注 400mg/m <sup>2</sup> + 5%ブドウ糖液50mL 点滴50mlにして5分で急速点滴	div	5分
	⑧ 5%ブドウ糖液50mL(フラッシュ用)	div	5分
	⑨ フルオロウラシル注 2,400mg/m <sup>2</sup> + 5%ブドウ糖液100mL 携帯用ポンプで全量100mlに調製	div	46時間

d1 前投薬  
レスタミンコーワ錠10mg 5錠

po

プロトコール適応時表示コメント

KRAS遺伝子野性型に適応する。

照射併用時照射線量

グレイ (備考欄)